



チャリティ映画会	1
活動報告（救済、絵本読み聞かせ、防災リュック）	2
学園からの声	3
言の葉	4
MONO 募集	4
寄付ご紹介	4

**10月26日（土） 一宮学園で映画を観よう！ チャリティ映画会**

あなたは、「社会的養護」を受けて育つ子どもたちの現状をご存知ですか？  
 現在「乳児院」「児童養護施設」「子どものシェルター」「自立援助ホーム」などで、社会的養護を受けて暮らす子どもの数は4万7000人以上。  
 子どもを取り巻く状況は、年々厳しさを増しているようにも感じます。  
 それなのに、そこで暮らす当事者である子どもたちの声、施設側のスタッフの声、施設を出て社会で暮らす人たちの声が、私たちに届くことが少ないのが現状です。  
 彼らが何を感じ、どう生きようとしているのか。  
 また我が子を、社会的養護に預けざるを得ない状況に追い込まれた親たちは、何を思い生きているのか…  
 映画「わたし、生きてていいのかな」は、「社会的養護」の背景と現状を描きます。



映画  
**わたし、生きてていいのかな**  
 監督・脚本 佐野翔音



🌸募金箱にお気持ちだけ  
 お願いします🌸

**入場無料**

会場：一宮町一宮389番地一宮学園内

時間：1回目上映 9:30~11:30      2回目上映 13:30~16:00

おしゃべり会 1回目のあと30分くらい 2回目のあと1時間くらい

子どものこと、地域のこと、施設のこと、施設を巣立った後のこと、  
 映画の感想などおしゃべりしませんか？

問い合わせお申込み ☎なら 0475-42-2069

URL なら forms.gle/qrNkc2PCf4nNuqJd9      QRコードなら



## 救済

今年度に入りすでに延べ9名に1,075,400円の給付支援をしています。

前年度は年間で1,072,280円でしたから、半年ですでに超えてしまいました。

- ・1件は免許取得のための給付でした。今の施設の子どもたちは、条件はありますが自動車免許をとるための支援金があります。しかしそんな制度がなかった時代のwalker（いっぽでは退園生をwalkerと呼んでいます）の中には免許を取得できないままです。もちろん免許はなくても生きていけますが、都会ではない地域での子育ては、運転できると大いに便利になると思っています。
- ・5件は皆生活費の補填です。上がらぬ給料に物価高。実質賃金の低下という要因は大きいですが、キャッシュレス時代でスマホ決済が当たり前になり、収支の把握がしにくいこともあると思います。面談でスマホの中身を見てみると、必要のないものの会員になっていたり、少額ですが毎月自動支払いになっていることが見受けられました。しかも契約は簡単でも解約は複雑で手間がかかり大変なのです。それをひとつひとつ根気強く解約をしてスマホ内を整理しました。
- ・3件は医療費です。健康でなければ仕事もできず、生活全般がマイナスなサイクルに入り込んでいきます。すぐに完治するわけでもありませんので、今後も給付が発生すると予想されます。

★これらは皆様からのご支援のおかげです。深く感謝申し上げます。

下半期もよろしくお願いいたします。

## 絵本読み聞かせ



一宮学園の7名の児童を対象に行っています。

この事業を始めたときは、園児でしたが、今は一番大きな子でもう小学校5年生です。

児童が絵本を選び、大人が読んであげるといった当初のようなスタイルでは年齢に合わなくなってきました。

興味のあることを一緒に調べたり、児童が大人に読んでくれたり個人に合わせて過ごしています。

## 防災リュック 第二弾

2年前に助成金を獲得して一人暮らしのwalkerに防災リュックを送るという事業をしました。在庫がなくなり、今年度退園する児童や、まだ送っていないwalkerに送るため、再度申請したところ助成金をいただくことができ、14個分準備できました。

コープみらい財団様、ありがとうございました。



## 学園からの声

### 五感の回復へのアプローチ

#### エアコンなしで乗り切った『子どもたちが主役のキャンプ』

ケア部部长 加賀孝幸

2024年の夏も酷暑が続き、エアコンなしでの生活が考えられない日々が続いています。その中で、今年の夏も希望した子ども9人と共に、長野県泰阜村で2泊3日のキャンプに行っていました。このキャンプは、NPO法人グリーンウッド自然体験教育センターが実施している子ども向けのキャンプで、私が学生時代にボランティアとして参加したご縁から、施設の子どもたちにも「子どもたちが主役」のキャンプを体験してほしいという思いを汲んでいただき、今年で3年目となりました。

施設の子どもたちには、自分の意見を言うことや自己主張が苦手な子どももいます。幼少期に家庭で虐待や体罰を受けた結果、子どもの権利が奪われ、自信を失っている場合も少なくないからです。このキャンプは、大人が管理するプログラムに沿って進行するものではありません。子どもたちは「山賊会議」と呼ばれる会議で、自分たちでやりたいことを自由に意見し決めます。それも多数決で物事を決めるのではなく、一人一人の意見が大切にされることで、自信の無かった子どもも勇気をもって一歩踏み出せるようになります。もちろん、そのためには、自分たちで少しの責任を負い、周りはみんなで応援します。

活動としては、食事作りも自分たちの手で行いました。普段は食事作りに興味を示さない子どもも、不器用ながら包丁を使って頑張る姿が見られました。川遊びや工作、ドラム缶風呂、沢のぼり、肝試しなど、多彩なプログラムがあり、子どもたちはたくさんの思い出を語ってくれましたが、その中で一番の記憶は、千葉では見られない満天の星空だったようです。寝ながら見上げる数え切れないほどの星々は、忘れられない夏の思い出となりました。

ちなみに、私の思い出は、キャンプに向かう道中で車のエアコンが故障し、8時間エアコンなしで乗り切ったことです。やはり、夏のエアコンなし生活は考えられないと改めて実感しました。

※本キャンプ事業は、クラウドファンディングにて多くの方々からご賛同いただき、開催することができました。次年度も開催に向けてクラウドファンディングを実施する予定ですので、その際にはぜひご賛同いただけますと幸いです。

NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター

(本事業の記事が掲載されています。)

<https://www.greenwood.or.jp/tane/14520/>



# 言の葉

ひも

谷川俊太郎

うまれてから このかた  
 ひもには あたまも しっぽもなく  
 ふたつの はじっこが あるだけだった  
 いろあせた こいぶみの たばを  
 くくっている あいだは よかったが  
 わけあって こいぶみが もやされ  
 もう むすぶものも しばるものも なくなる  
 と

ひもは すっかり じしんを うしなった  
 ひきだしのおくで ひもは  
 へびになるのを ゆめみはじめる  
 ちゃんと あたまと しっぽがある へびに  
 へびになれたら  
 ぼくは によろにと おかにのぼろう  
 そして とおくのうみを ながめよう



今年も

★ 1人暮らしのあの子へ送る『ふるさと宅配便』からのお願い ★

食品なら 米、餅、缶詰、レトルト食品、カップ麺、日持ちするお菓子 など

雑貨なら 生理ナプキン、歯ブラシ、ハンドクリーム、めぐリズム など

12月『家族』を感じる季節です。ひとりじゃないよ、の気持ちを込めて、健康を願った品々を届けます。

〆切は **12月11日(水)**

080-6535-0977 (荒木) までご連絡を

ありがとうございました

2024年5月8日～8月31日にいただいたご寄付のご紹介

(順不同・敬称略・数字は回数)

◆寄付金◆ 渡邊裕之、御領恵美子、糸瀬悦子、山田悦子、(合同)アジャストトレーディング、(有)サン  
 オフィス、朝日プラント工業(株)、よねもと整形外科、木下太郎、(株)まるへい、横山洋司、横山きよ  
 み、(有)第三電気工業所、徳永桂子、(株)アステック、房総プラント(株)、竹内悦子、(株)ハイクラ  
 フト②、金田奈津子、伊藤裕⑤、ファミリーホーム吉成、古寄英俊、青木美和子、(株)合同資源、金澤輪  
 業、笠原貞子、和菓子司かねきち、(有)東金屋、依田洋三、近藤範夫、市川瑞恵、匿名希望5名

◆物◆ 芝田由美子、大迫美津枝



## ●支援のお願い●

郵便局 口座番号 00170-8-663629

一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会

★他金融機関からの振込用口座は

店019 当座 0663629

★ご寄付はいくらからでも結構です。

一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会

〒299-4301

千葉県長生郡一宮町一宮 389 番地一宮学園内

事務局 電話 080-6535-0977 (荒木)

E-MAIL hajimeno.1.2.3po@gmail.com